

平成18年度 直轄請負工事の事故発生状況

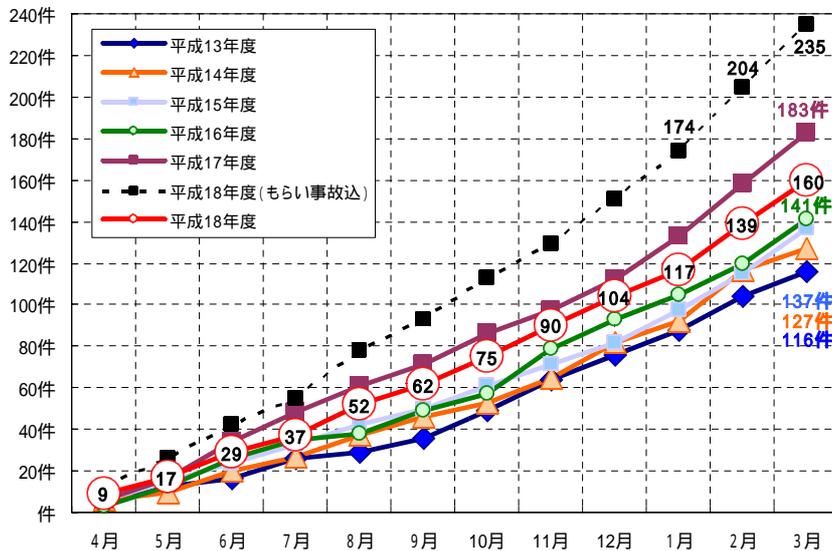


図-1 月別発生事故件数(累計) [4月末速報値]

平成18年度における発生事故件数は、図-1の月別発生事故件数(累計)のとおり、160件でした。もらい事故を含めると、235件となっています。前年度(平成17年度)の年間発生事故件数183件(もらい事故含まない)を下回る結果となりました。年度末である2月、3月については22件(2月)と21件(3月)の計43件(もらい事故含むと30件(2月)と31件(3月)の計61件)と事故が多発しています。

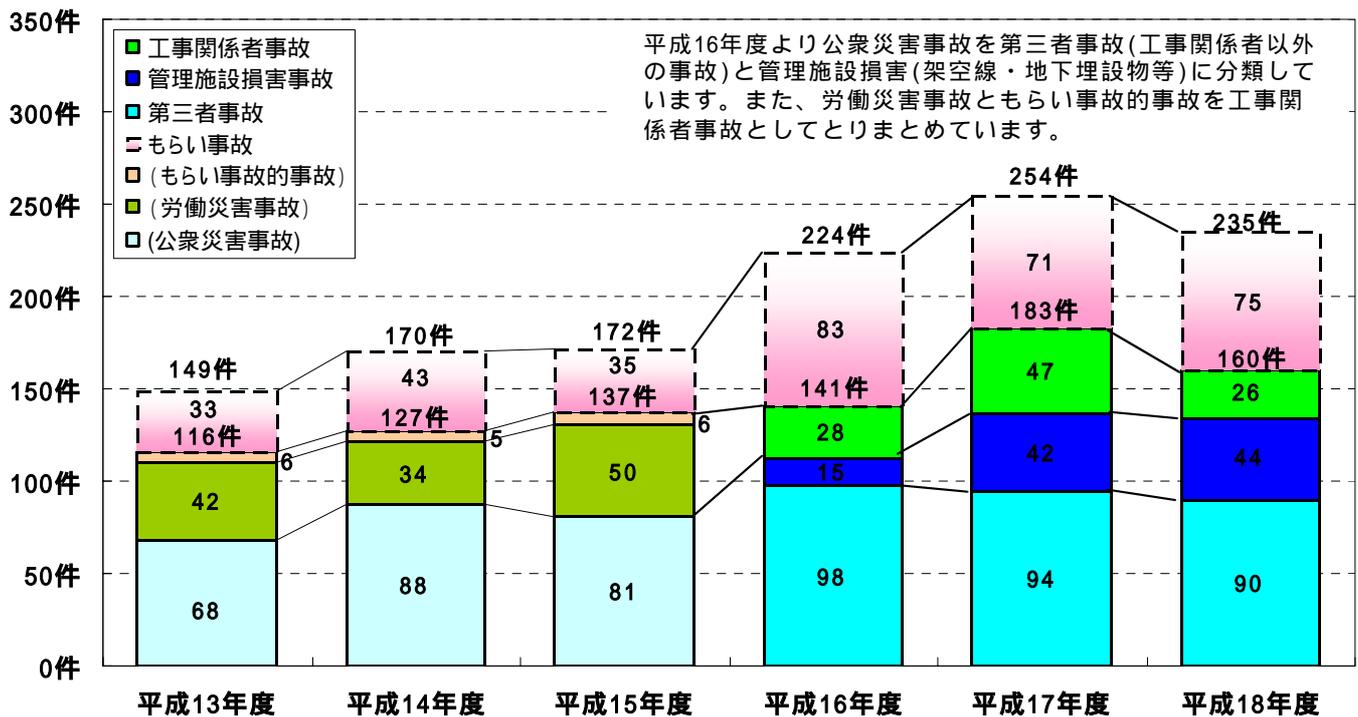


図-2 事故種類別

事故種類別(図-2)については、工事等が起因し工事関係者が被災した事故 工事関係者事故、第三者及び管理施設に損害を与えた事故 第三者損害事故 及び 管理施設損害事故、第三者が起因して工事関係者が損害を受けた事故 もらい事故 に区分しています。工事関係者事故 については、26件となっており、前年度(平成17年度)の47件から減少しています。

年間発生事故件数が減少したものの 第三者損害事故 と 管理施設損害事故 を併せた値が134件となり、昨年度とほぼ同等の件数が発生しています。

もらい事故 は75件発生し、全体の約3割を占めていますが、前年度(平成17年度)の71件から増加しています。

以下の図(図-3, -4, -5, -6)は、第三者が起因して工事関係者が被害を受けた"もらい事故"による事故件数及び被災者数は含んでいません。

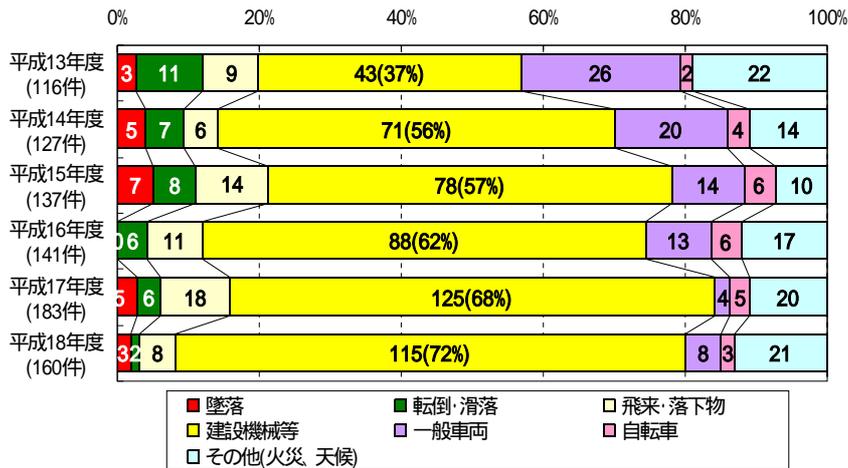


図-3 事故分類別

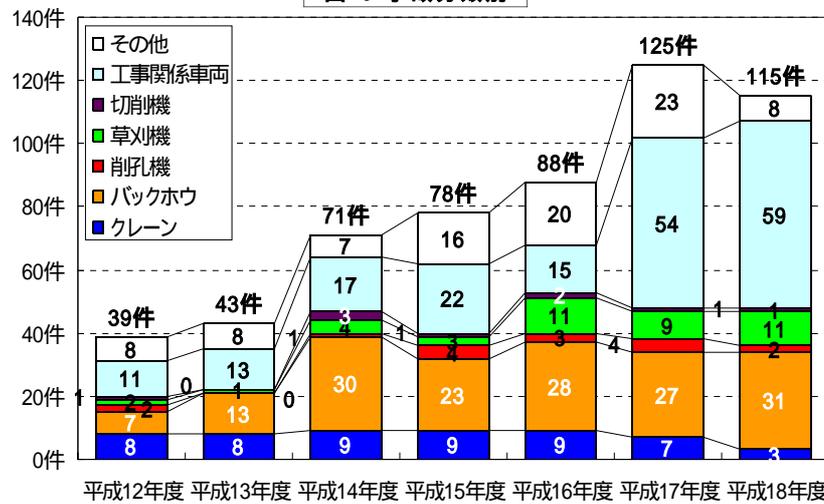


図-4 建設機械分類別

事故分類別(図-3)では、バックホウやクレーンなどの"建設機械等"が関係した事故の割合が毎年増加傾向を示しています。平成18年度については115件の事故が発生し、全体の約7割を占める結果となっています。

建設機械分類別(図-4)では、ダンプトラック、連絡車等(官用車含む)を含む"工事関係車両"及び"バックホウ"が関係した事故が前年度より増加しています。

主な事故内容は"工事関係車両"による工事現場や駐車場等への出入の際の接触事故や、"バックホウ"による架空線等の接触事故となっています。主な要因として、当事者の不注意が考えられますので、請負業者は、下記の自動車等の事故防止対策(案)を参考に、注意・指導して下さい。

[自動車等の事故防止対策(案)]
 "だろ"運転、漫然や脇見運転等を防止する為に、現道上の安全運転を遵守させること。
 日頃の健康管理を徹底すること。
 映像による危険・予知訓練等を徹底すること。

平成18年度に発生した事故(160件)により、41人が被災しています。その内、負傷者は40人、死亡者は1人となっています。(図-5、6参照)

被災者数は、前年度(平成17年度)までと比較すると減少しているものの、重傷者は前年度と同様の被災者数となっています。(図-5参照)

平成19年度についても引き続き、請負業者は、下記の事故防止対策(案)を参考に、注意・指導して下さい。

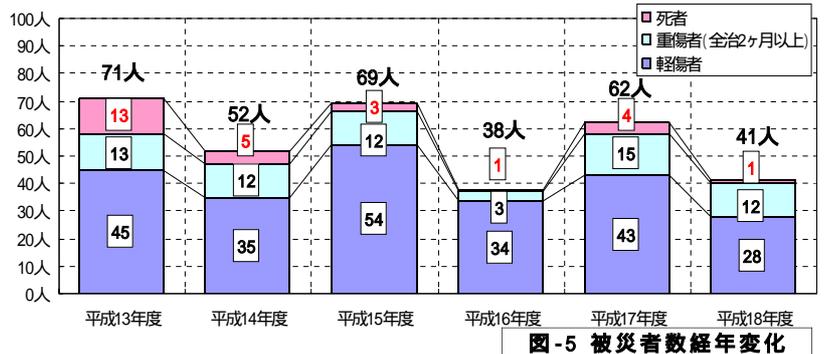


図-5 被災者数経年変化

[事故防止対策(案)]
 指示事項の遵守
 責任者監視の元での作業の徹底
 安全パトロール・安全点検の徹底
 危険・予知訓練等の徹底
 作業員同士での注意喚起

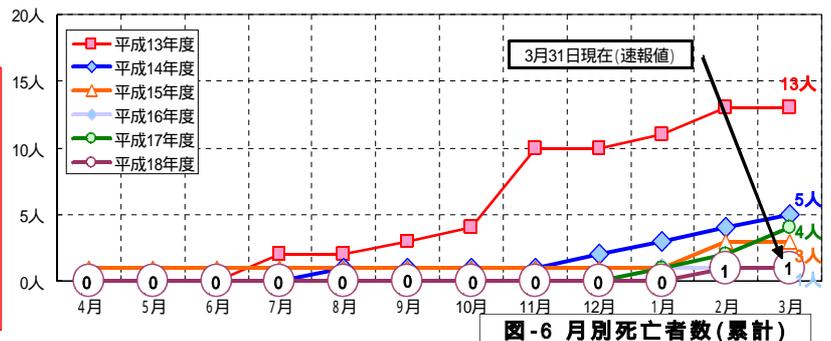


図-6 月別死者数(累計)

運転事故を防止して事故の無い現場を目指そう!!